



ECOMACO岡さんに伺った、 バイオスマネキンの出会いと AIR STYLIST の印象

岡 正 子

OKA MASAKO

1998年、長野冬季オリンピックプログラムにてポリ乳酸繊維の衣装を発表。ファッションにエコロジーを取り入れた先駆者として国内外から注目を集め、2003年ECOMACO(エコマコ)をスタートさせる。岡学園トータルデザインアカデミー校長。前杉野学園ドレスメーカー学院院長。

Q：“自然のエネルギーを身にまとう”というECOMACOのブランドコンセプトとは？

ECOMACOは、自然を見つめ、素材を感じ、心と身体にそっと寄り添い、人にも地球にもやさしいモノづくりを追究してきました。「エコロジー」「ヘルシー」「フリー」をキーワードに、自然の恵みに満たされる幸せを、すべての女性にお届けしたいと思っています。そんな心地よさを考えていく中で出会ったのが、バイオマス原料を使用したポリ乳酸繊維です。まだ世に出ていない素材にトライしていく中で、数々の実験や失敗を繰り返しようやく現在のECOMACOのライフスタイルにたどり着きました。

Q：過去にヤマトマネキンと協業したオリジナルマネキンについて

2012年春夏コレクションでコラボさせていただいたバイオスマネキンは、まさにポリ乳酸の可能性を追求した1つの事例になりました。独特の透け感を活かし、アトリエに咲くバラ、コレクションで使用した布をちりばめたマネキンを製作していただいたのですが、衣服を引き立てるためのマネキンがメッセージ性を持つことで1つのストーリーが生まれました。

Q：AIR STYLIST の印象

やさしい乳白色がナチュラルな印象で合わせる服に馴染みやすいと感じました。ECOMACOでは展示会等でマネキンを自社から持ち込むことがあるのですが、こちらのAIR STYLISTは軽いので持ち運びにも便利だと思います。また、服がすべりにくいので着くずれのストレスなく使用することができました。

バイオスマネキンを、導入いただいたお客さまの声

株式会社 京急百貨店

京急百貨店は、平成25年7月に百貨店としては始めて「エコマーク認定店舗」になりましたお客様に、よりエコな活動を体験し、環境に配慮していることを実感していただける取り組みを行っています。この度、環境への負荷が低い素材を使用したディスプレイツールとして、バイオマスマークを取得しているヤマトマネキン製バイオスマネキン（メンズ・レディストルソータイプ）を、7階催事場にて採用いたしました。



京急百貨店

株式会社 三越伊勢丹

三越伊勢丹グループ企業理念では、地球環境をステークホルダーとして向きあっていくことを明確にしています。その考え方を元に2009年4月に策定した三越伊勢丹グループ環境方針に基づき、持続可能な社会の実現に向けて地球温暖化防止と環境保全のための施策を実施し、その具現化を図っております。

ディスプレイツールにも環境に優しい商材を使っていきたいと考えヤマトマネキン製バイオスマネキンを2009年より導入。地産地消の取組みによる木質バイオスマネキンを採用、その後胡粉、貝殻使用のバイオマスボディを採用し今日に至っております。



伊勢丹 新宿店